

会 議 録	
会議の名称	平成28年度第1回清須市地域公共交通会議
開催日時	平成28年6月24日（金） 午後2時00分から午後3時45分
開催場所	清須市役所西枇杷島庁舎2階 第1委員会室
議題	1 開会 2 あいさつ 3 議事 [報告事項] (1) 清須市コミュニティバスの運行・利用状況について (2) 清須市レンタサイクル事業の実施状況について [協議事項] (1) 平成28年度清須市地域公共交通会議スケジュール（案）について (2) 地域公共交通網形成計画の達成状況等（案）について (3) 清須市生活交通確保維持改善計画（案）について (4) 清須市公共交通に関する意識調査の実施（案）について (5) 平成27年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算（案）について 4 その他 5 閉会
会議資料	会議次第、配席図、委員名簿 [会議資料] 資料1 コミュニティバスの運行・利用状況概要 資料2 レンタサイクル事業の実施状況 資料3 清須市地域公共交通会議スケジュール（案） 資料4 清須市地域公共交通網形成計画の達成状況等（案） 資料5 清須市生活交通確保維持改善計画（案） 資料6 「清須市公共交通に関する意識調査」の実施（案） 資料7-1 コミュニティバス利用促進イベント事業報告 資料7-2 平成28年度コミュニティバス利用促進実施計画（案） 資料8 平成27年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数	0人

(公開した場合)	
出席委員	前田(繁)委員、山田委員、谷野委員、林委員、後藤委員、石原委員、加藤(榮)委員、宮崎委員、加藤(博)委員、古橋委員(代理)、桑原委員(代理)、大西委員、多田委員、河合委員、葛谷委員、飯田委員(代理)
欠席委員	仙石委員、古田委員、前田(秀)委員
出席者(市)	なし
事務局	(企画政策課) 河口企画政策課長、忠内副主幹、藏城副主幹、小出主査、横井主事
会議録署名委員	山田委員、谷野委員
<p>1 開会</p> <p>●藏城副主幹 定刻となりましたので、ただ今から、平成28年度第1回清須市地域公共交通会議を開会いたします。 私は、企画部企画政策課の藏城と申します。本日の進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。 それでは、会議に先立ちまして、前田会長にごあいさつをいただきます。</p> <p>2 あいさつ</p> <p>●前田会長 前田でございます。 まだ、本会議副会長の加藤先生がおみえになっておりませんが、じきおみえになるとのことですので、会議を進めさせていただきますと思います。 本日は、大変お忙しい中、また、お足元の悪い中会議にご出席いただきまして大変ありがとうございます。 また、日ごろは、本会議の運営管理等にご協力とご理解を賜りまして大変ありがとうございます。本日も協議事項、報告事項等多々ございますが、よろしくお願いいたします。 簡単ではございますが、これであいさつに代えさせていただきますと思います。</p> <p>●藏城副主幹 ありがとうございます。会議に入ります前にご報告がございます。人事異動等により、委員のご変更がございますので、ご紹介をさせていただきます。 委員区分の、第1号住民又は利用者の代表の方ですが、石原直子様、第4号愛知県の関係行政機関の職員の方ですが、愛知県振興部交通対策課主幹の桑原良隆様に、愛知県尾張建設事務所維持管理課長の仙石忠広様に、人事異動により新たに委員にご就任いただくことにな</p>	

ります。これから大変お世話になりますが、よろしく願いいたします。

続きまして、本日の会議の出席状況についてでございます。本日の欠席委員は、第4号委員愛知県尾張建設事務所維持管理課長の仙石委員、第5号委員愛知県バス協会専務理事の古田委員、及び、つばめ自動車労働組合執行委員長の前田委員の3名でありますので、よろしくお願いいたします。

そして、第3号委員国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官の古橋委員におかれましては、渡辺様に、第4号委員愛知県振興部交通対策課主幹の桑原委員におかれましては、山口様に、愛知県警察本部西枇杷島警察署交通課長の大西委員におかれましては、竹内様に、第6号委員清須市都市計画課長飯田委員におかれましては、前田様に、代理としてご出席いただいておりますので、ご報告いたします。

それでは、議事に入る前に、国土交通省中部運輸局愛知運輸支局渡辺様よりお手元に配布いたしました「地域公共交通について 活発で良い議論ができる会議のために」について、ご説明させていただきます。

#### ●国土交通省中部運輸局愛知運輸支局 渡辺様 説明

愛知運輸支局の渡辺です。

私からは「地域公共交通について 活発で良い議論ができる会議のために」について、ご説明させていただきます。

国土交通省中部運輸局では、「みんなの交通応援プロジェクト」を実施しております。その中でいろいろ検討した結果、このような冊子を各市町村の公共交通会議の場で配布することによって、少しでも会議の場で意義ある議論をしていただきたいという思いから作成させていただきました。

1 ページ目ですが、タイトルに「全国の地域公共交通が大ピンチです」とあります。年々、バスの輸送人員が減っていることが書かれています。

2 ページ目以降は、「地域にふさわしい公共交通をつくりあげていくために、住民、交通事業者、行政などの関係者みんなが公共交通会議で話し合っ決めていきましょう」という内容になっております。

3 ページ目、4 ページ目については、公共交通会議の参加者とその役割が記載されており、公共交通会議の参加者は、その役割に応じていろいろ発言をしていただけたらと思います。

5 ページ目、6 ページ目について、委員の皆さんは、公共交通会議の中で素朴な疑問等がわいてくることがあると思います。そういう素朴な疑問をぜひ発言していただいて、「委員の発言から、よりよい公共交通会議にしていましょ」ということが記載されています。

私からは以上です。

#### ●藏城副主幹

ありがとうございました。

それでは、これより議事に入りますが、ここで、議事運営につきましてお願いを申し上げます。

会議での発言方法についてですが、会議で発言していただく際には、必ず挙手をしていただき、会長の指名を受けた後、係の者がマイクをお持ちいたしますので、その際、ご自身のお名前を仰っていただき、ご発言していただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、このあとの議事進行は、会長にお願いいたします。

### 3 議事

#### ●前田会長

それでは、これからは私の方で会議の取り回しをさせていただきます。よろしくお願いいたします。

はじめに、会議録署名委員の指名をしたいと思います。

本日の会議の会議録署名委員は、座席順に山田委員と谷野委員にお願いしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

議事に入りますが、本日は、報告事項が2件、協議事項が6件となっております。

では、まず報告事項の議事(1)「清須市コミュニティバスの運行・利用状況について」及び、議事(2)「清須市レンタサイクル事業の実施状況について」を一括して議題といたします。それでは事務局から説明をお願いします。

〔報告事項(1)及び(2)について事務局から説明〕

#### ●前田会長

それでは、この報告について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

#### ●山田委員

山田です。

資料1の「表2 1 便当たり利用者数の比較」のグリーンルートですが、目標値が4.9人で、実績値も4.9人で同じですが、利用者増加のためにどのようなことを行いましたか。

#### ●小出主査

網形成計画において、バスの利用度を上げるための5か年分の利用促進策を計画しております。

それに基づき、平成27年度取組項目の一つである「利用促進イベント開催」ということで、PRイベント等で利用の促進を行った結果、グリーンルートは同等ですが、他ルートについては目標達成に繋がったと考えております。

#### ●山田委員

実はですね、清須市にはいろんな団体があるわけです。ですので、

バスの利用促進には、そういう団体を利用するべきだと思います。高齢者が多い寿会等へバスのチラシを出したり、バスの利用を促したりするべきです。そもそも、バスの利用方法もわからない人もいるかもしれません。

あとで、バスの認知度が出てきますが、認知度はかなり浸透しています。アンケート調査自体が、どこで実施しているかということは問題ですが、もっと利用促進の方法について、考えていただきたいと思います。

●小出主査

ありがとうございます。

後ほどご説明をさせていただきますが、平成28年度に市民の方に対して、本市の公共交通の充実度、満足度の度合いを評価していただく「公共交通に関する意識調査」を行わせていただこうと思っております。

その調査結果を踏まえて、今後のバスの利用促進策だけでなく、公共交通施策の見直し、改善につなげていきたいと考えております。

●前田会長

はい、ありがとうございます。

他にご質問等よろしいでしょうか。

それでは、加藤先生に報告事項（1）及び（2）に関しまして、ご講評いただきたいと思います。

●加藤副会長

なぜ、昨年度に比べてこれほどバスの利用者数が増えたのか、もう少し合理的な理由はありますか。

私は、大規模ルート・ダイヤ改正以降は、少しずつルートとダイヤを手直ししているだけですので、バス自体が市民の方に浸透してきたからといって、利用者数が特別に増える訳ではないのかなと思えました。

ルートも大きく変えていないので、ルートが周知されてきたから利用者数が増えたという訳でもない気もしてまして、利用者数の増加のはっきりとした要因が分かるといいですね。

逆にいったら、その要因がわかればもっと利用者増加につなげられるので、思い当たる増加の要因はありませんかね。

あと、レンタサイクルは、本当は潜在的に何十倍も使いたい人がいるんじゃないかと思っています。「どうしたら、現状より何十倍もレンタサイクルを使ってもらえるようにできるのかな」と考えています。

もちろん、それによって経費がかかってしまっはいけないので、あまり経費をかけないで、潜在的なレンタサイクルを使いたい人を掘り起こすにはどうしたらいいのか私なりに考えているところです。

●小出主査

バスの利用者数が増加した大きな要因ですが、一番の要因は、やは

り一日無料デーを実施したことだと考えています。一日無料デー当日は、通常の3倍もの方にお乗りいただきましたので、結果として、利用者増加につながりました。

また、ルート・ダイヤ改正も適宜、利用者の需要等にあわせて行っておりますので、それについても利用者増加の要因として考えているところがございます。

もっと具体的なはっきりとした要因については、正直分かりかねているところです。

●加藤副会長

一日無料デーの増加分は、結局300人くらいだけの話です。

この利用状況を見ると、それだけが要因ではなくて、全てのルート、全ての月で利用者が増加しています。私は、そういうデータはあまり見たことがないです。もう少し、「このルートは利用者が下回ってるので、ここはいいけど、ここは悪いから何とかしよう」とか、あると思うんですけど、こんなに全てがきれいに増加しているとなると、計算間違いしてるんじゃないかと疑うくらいです。

いずれにしても、増加のはっきりとした要因が分からないとなると、次年度のルート・ダイヤ改正をためらってしまいますね。「現状維持でも増加していくのでは」と期待してしまいますし、「実は、もっとやるべきことがあるんじゃないか」とも考えてしまいます。

どちらにせよ、この後議論される「公共交通に関する意識調査」によって、今後の方向性は明らかにしていくということでしょうね。

●前田会長

ありがとうございます。他に委員、よろしいですか。

[特になし]

ご質問もないようですので、これで報告事項の議事(1)及び(2)を終わります。

●加藤副会長

すみません。ちなみに、この平成27年度の利用者数は、年度の利用者数としては、過去最高と考えていいですか。

●小出主査

はい。毎年10%ずつ増加しており、平成27年度が過去最高です。

●加藤副会長

平成27年度が4万8千人ですので、今年はおよそ5万人ということですね。

●小出主査

はい。順調にいきましたら、そのような数値となります。

●前田会長

続きまして、協議事項にうつります。

協議事項の議事(1)「平成28年度清須市地域公共交通会議スケジュール(案)について」を議題といたします。

それでは、事務局から説明してください。

[協議事項(1)について事務局から説明]

●前田会長

それでは、この協議事項について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

●加藤副会長

本庁舎増築に伴い、庁舎が集約されるのですね。それに関してですが、現状の庁舎はもう使わないということですか。

●河口課長

現状の庁舎といわれますと、清洲庁舎と西枇杷島庁舎ということですか。

●加藤副会長

はい。あるいは春日支所などです。

●河口課長

春日支所に関しては、愛知県の清須保健所及び春日老人福祉センターがあります。清洲庁舎につきましては、健康福祉部、清洲保健センター及び商工会等があります。西枇杷島庁舎につきましては、建設部ですとか、隣には西枇杷島会館があります。

したがって、サービスセンター機能が移転し、庁舎ではなくなっても取り壊す訳ではないので公共施設として残る予定です。

●加藤副会長

現在の清洲庁舎では、正面玄関前が停留所ですので、もしかして、公共施設や駐車場がなくなってしまうたら、それに対応しなければならぬと思いましたので聞きました。

それと、バス停名を変更する必要があるのかどうか気になりましたので聞きました。

●河口課長

清洲庁舎につきましては、加藤先生のおっしゃるとおり、正面玄関前から若干の場所の移動は出てくると思います。

ただし、大幅に変わるものではないですし、他の公共施設は維持されるので、まずは、庁舎にあるバス停は現状維持の予定です。

あと、バス停名につきましては、「西枇杷島庁舎、清洲庁舎、春日支

所」という名称は、増築庁舎の供用開始時点でなくなります。

したがって、バス停名称変更につきましては、今後予定しております、ルート・ダイヤ改正にあわせて行いたいと考えております。

●前田会長

他に委員、スケジュールに関しましてよろしいですか。

ご質問もないようですので、ここでお諮りいたします。

本件に関して、ご承認いただくということで、よろしいでしょうか。

〔異議なし〕

それでは、これで協議事項の議事（１）を終わります。

続きまして、協議事項の議事（２）「地域公共交通網形成計画の達成状況等（案）」を議題といたします。

それでは、事務局から説明してください。

〔協議事項（２）について事務局から説明〕

●前田会長

それでは、この協議事項について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

●山田委員

山田です。

ちょっとお伺いしたいんですが、事務局の説明の中で、「目標値がない」とありましたが、それは、「適切に運用している」と解釈するのですか。もしくは、「その場その場で、適当にやる」と解釈するんですか。

本来であれば、目標値があるものではないですか。例えば、「歩道はこんな風に作りましょう」とか、「自転車通行路はこんな風に作りましょう」とかです。そのような目標がないことが理解できないです。

●小出主査

目標値の設定につきましては、網形成計画を策定する過程で、公共交通会議において、委員みなさんと議論して決定しました。

その中で、目標値を設定しなかったのは、その取組項目が目標値を設定することが「なじまない」、または、「掲げることができない」取組みであったため、採用しなかったところです。

例えば、先ほど山田委員がおっしゃられた「⑦ 歩道、自転車通行路の整備」につきましては、実際のところ、本市では自転車通行路の整備が大変難しい状況です。しかしながら、都市計画道路や市道を整備する際には、それにあわせて歩道等の整備を適切に実施していくことを目標としています。したがって、目標値としては掲げられませんが、「適切に整備を行っていくこと」が目標となっています。

また、「⑨ 駅周辺の放置自転車の減少」につきましても、本市の「自転車等駐車対策基本方針」に基づきまして、まず、平成27年度には



名鉄新清洲駅、平成28年度にはJR枇杷島駅という風に順次進めているところです。

また、「⑩ 駅前整備の推進」につきましても、土地区画整理事業として、適切に整備されているところです。

●山田委員

例えば、「⑨ 駅周辺の放置自転車の減少」で、有料駐輪場を整備して放置自転車を減少するのであれば、「いつまでに、どれくらいの放置自転車をなくします」というのが目標じゃないですか。

いつか放置自転車をゼロにするために有料駐輪場を出す訳ですので、そういった目標はあるべきだと思います。これは個人的な意見です。

●加藤副会長

この資料4だけみると、確かに、「本当にこれでいいの」ってなりますね。目標値を「-」とすると、さらに目立ってしまいます。

取組項目の①から⑩までのうち、②、③、④、⑤、⑧は目標値を設定することができて、残りは、「設定することができなかった」あるいは「設定するような取組ではない」ということですよ。何も説明なしに、この資料だけみると、適当に評価したみたいになってしまいます。

例えば、あえて目標を設定するのであれば、「① あしがるバスの運行」ですと、「欠便せずに、毎日しっかり運行する」を目標にするという考え方もあります。

また、「⑦ 歩道・自転車通行路の整備」だったら、例えば平成27年度のある程度の整備計画があると思いますが、いかがでしょうか。

「ここの市道を何キロを整備する」とか、そういうのがないと分からないと思います。市道を1メートルでも整備したら適切なのかなど、ということになってしまいます。

このような資料の体裁であれば、もう少し何か書けることはないのか検討の余地はあると思います。

「⑨ 駅周辺の放置自転車の減少」にしても同様です。平成27年度の有料駐輪場はどこかの駅の整備をしましたか。

●小出主査

名鉄新清洲駅です。

●加藤副会長

例えば、名鉄新清洲駅で整備をしたのであれば、「整備前は放置自転車が何台あったけど、整備後は何台になったんで効果はありました」くらいは書けるといいですね。この資料の書き方だと、「今年はどこかの駅を整備して、来年はどこかの駅を整備しました」になる感じだと思うので、もう少し何か書けるといいですね。

あとは、「達成度」が未達成になってる取組項目の「まとめ・今後について」ですが、「未達成だが～よかった」という書き方をしています。

しかし、達成が未達成なら基本的には目標を達成できなかった訳なので、このような書き方は違和感があります。「未達成だが～よかった」というのは、目標値がおかしいということになると思います。

通常なら、「未達成だから～残念」という書き方でないと目標値の否定になってしまいます。

事務局の資料作成の意図は分かります。決して、資料の批判をしている訳ではないですけど、全く何も知らない意地悪な方を見ると、「どういう意味なのかな」と思うでしょうね。

それは意識した方がいいので、指摘させていただきます。特に外部に公表する資料は意識した方がいいと思います。

●前田会長

他に委員、よろしいですか。

〔特になし〕

●前田会長

他に、ご質問もないようですので、ここでお諮りいたします。

本件に関して、先生のご意見を踏まえた上で、ご承認いただくということではよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

ありがとうございます。それでは、協議事項（２）に関しましては、これで終了いたします。

●加藤副会長

この資料４「網形成計画の達成状況等（案）」ですけど、協議事項とした理由って何かありましたか。

網形成計画のなかで、「目標達成状況について承認する」ことになっていましたか。

「この取組項目は達成したからよかったね」、「未達成だから悪かったね」であれば、報告事項でもいいのかなと思います。その件については、異議がある訳ではないので承認しますが、結構珍しいケースかなと思います。

●小出主査

はい。網形成計画のなかで、計画の進捗管理として、PDCAサイクルにより達成状況を評価し、結果を踏まえて計画を変更することとしています。

今回、事務局で達成状況を自己評価して、この会議の場で、委員皆様にお示しするにあたり、「達成状況はこうなりました」の「報告事項」ではなく「事務局はこういう評価ですが、委員皆様はどうお考えですか」という意味で、協議事項とさせていただきました。

- 加藤副会長  
事務局の意図は分かりました。でも、次回からは報告事項でいいかなと思います。
- 前田会長  
はい。ありがとうございます。  
続きまして、協議事項(3)「清須市生活交通確保維持改善計画(案)」の説明を事務局からお願いいたします。  
  
〔協議事項(3)について事務局から説明〕
- 前田会長  
ただ今の事務局からの説明に関しまして、委員からご意見、ご質問等がありましたらお願いします。
- 山田委員  
山田です。  
資料5の「(1) 事業の目標」で、「① 1便あたり目標利用者数」に各ルートの目標利用者数が書いてあります。  
これは、各ルートではなく、全ルート総計の利用者数という書き方はできないものでしょうかね。各ルートですと、年間で何人になるかが分かりづらいと思いましたので質問です。
- 小出主査  
現状、あしがるバスの各ルートでそれぞれ行き先などが違うものですから、網形成計画の目標を1便あたりの利用者数として設定しております。それに合わせて、こちらの目標も1便あたりの利用者数にしたところですよ。
- 山田委員  
年間に換算すると総計何名になりますか。
- 小出主査  
すぐには、計算しかねますが、各ルート、オレンジ6便、グリーン12便、サクラ12便に運行日数をかけて年間総数になります。
- 山田委員  
年間総数については分かりました。  
同じく、事業の目標の「② 認知度向上」ですが、平成29年度から、94%、96%、98%とありますが、その認知度の確認方法について教えてください。
- 小出主査  
認知度につきましては、毎年実施するアンケート調査から算出する数字です。

しかしながら、平成28年度につきましては、「公共交通に関する意識調査」を実施しますので、その中で認知度を算出する予定です。

●山田委員

時々バスに乗るとアンケート調査をやっています。バスに乗ってる人に認知度のアンケート調査をしたって、もちろんバスを知ってるから乗ってる訳ですので、バスに乗ってない人を対象にアンケート調査をやらないとおかしいと思います。

●小出主査

はい。山田委員がおっしゃるとおり、バスに乗ってみえる方は、もちろんバスを知っています。

したがって、認知度の調査につきましては、例えば、商業施設に買い物にみえた方や公共施設におみえになった方、また、バスのPRイベント開催時にブースにおみえになった方などに対して実施しています。

●加藤副会長

いま認知度の話がでましたが、あとの資料7-1をみると、「春日五条川さくらまつり」のときにアンケート調査をした際には、知っている人は半分くらいとなっています。ちなみに、最終目標は100%でしたか。

●小出主査

平成31年度に98%以上が目標です。

●加藤副会長

まあ、数値はなんでもいいですけど、前回の会議で目標は100%に変更したいと協議事項にあって、私が「そんなのとんでもない。あまりにも見識がない。達成できる訳がない」と、言った覚えがあります。

例えば、この資料7-1のアンケート結果をみたって、「目標達成はとんでもない」という感じを受けます。

もちろん、おまつりなどで調査すると、対象が市外、特に名古屋市の方に聞いているかもしれないので、このような結果かもしれませんが、やっぱり、認知度の調査方法はサンプルによって変動するのでどうかと思います。

●河口課長

認知度についてですが、先ほど担当から話をさせていただきましたのが、網形成計画の視点からでございます。

実は、あしがるバスの認知度につきましては、こちらとは若干違う話になりますが、現在、本市の総合計画を策定しているところです。

その総合計画の中で、あしがるバス事業が登載されており、その事業の達成度指標として、「バスの認知度」がございます。

その他にも、各事業の達成度指標等の指標を測るために、市民を対象として市民満足度調査を行います。

対象は3,000人を予定しており、その満足度調査の結果から基準値を測り、総合計画の上では、前期計画3年後、後期計画8年後に、その基準値を上回るような目標を設定していくことを考えております。

●加藤副会長

総合計画の話はいいんですが、この網形成計画の平成29年度94%、平成30年度96%、平成31年度98%はどうなりますか。

●河口課長

従いまして、昨年度に網形成計画を策定した中で、認知度を測っており、今年度に総合計画の方で策定に向けて議論をしている段階でありますので、この認知度についての測り方について、どのように測って、今後どのように修正していくのか、事務局として検討している最中です。

●加藤副会長

そうであるならば、現状では「事業の目標」としては記載できないと思いますがいかがでしょうか。

今の事務局の説明ですと、今年度の総合計画を策定する中で、認知度の測り方が変わってしまう恐れがあるとのことでした。

そして、この生活交通確保維持改善計画にこのまま記載するということは、国に対して、「目標を示す」いわゆる「約束する」ことになります。

しかし、計画期間終了後に評価をする際には、「目標は変わりました。測り方が変わりました」となってしまう訳ですよね。

それではいけなくて、現状で目標値が変わることが分かっているんだとしたら、この改善計画に記載できないのではないかと。あるいは、網形成計画を策定する際に測った方法で結果を示さないといけないのではないかと思います。

●河口課長

そうですね。網形成計画策定の際の認知度の測り方については、従前から毎年実施している非利用者アンケート調査になります。

このアンケート調査については、今後も継続的に実施する予定ですので、現状お示ししている認知度を測り、評価することは可能です。

それとは別に、総合計画を策定する中で、市民満足度調査を実施して認知度を測ることとしているので、その総合計画で測った認知度と、網形成計画で測った認知度のどちらを基本として認知度として採用していくのかを事務局の方で検討している段階です。

今後、どちらの認知度を採用していくのかは、後日、加藤先生にご相談させていただいて、その後に公共交通会議において協議させていただきたいと考えております。

●加藤副会長

では、どちらにしても、総合計画を策定する中でどのようにバスの認知度を測るのかは、今の時点では関係ないですね。

●河口課長

今の時点では、どちらを採用するかは定まっていません。

●加藤副会長

それでは結構です。

認知度の話とは別になりますが、いくつか意見があります。

まず、「① 1 便当たり目標利用者数」ですけど、先ほどの資料 1 にあった平成 27 年度の 1 便当たり利用者数の実績は書いておいた方がいいと思います。

そして、この資料 5 の「1 便あたり目標利用者数」自体も以前に上方修正してますよね。

●小出主査

前回、平成 27 年度第 3 回公共交通会議の際に、網形成計画に掲げた「1 便当たり目標利用者数」を上方修正させていただきました。

●加藤副会長

この改善計画に書いてある目標値と、網形成計画で上方修正した目標値は一緒ですか。

●小出主査

はい、整合させています。

●加藤副会長

前回の改善計画には、目標値を上方修正した旨を書きましたよね。

「目標値を上方修正した」ことは、「予測が甘かった」ということではあるんですけど、下方修正するよりは絶対いいことなので、アピールの意味を込めて、上方修正した旨を書いたはずですよ。

今年度も上方修正していたのであれば、そのことを書いた方がいいかなと思いましたが、整合されているのであれば、これで結構です。

また、「14 協議会の開催状況と主な議論」は、平成 23 年以降から書いてありますが、こんなに書く必要はないと思います。

だから、主要な計画である「地域公共交通総合連携計画」策定と、その改定、網形成計画策定とその後から書けばいいと思います。

平成 23 年度は、もう昔のことなので、昨年度はどのように議論して、それを踏まえて、どうしていくのかを書いた方がいいのかなと思います。

●小出主査

ご指摘のとおり修正させていただきます。

●加藤副会長

第三者評価委員会での二次評価結果は、この会議で紹介する必要があると思いますので、事務局から読み上げていただきたい。

●小出主査

はい。平成28年2月26日付けで中部運輸局長から通知をいただいています。

まず、地域内フィーダー系統、つまり、あしがるバスの運行につきましても、「平成26年3月のあしがるバスルート改正や乗り継ぎ利便性向上策等より、利用者数は増加していることや、改正後もコミュニティバスアンケートの実施により住民の移動実態やニーズ及び考え方の把握をしていること、利用促進イベントの実施などであしがるバスのPRを行っていることについて、評価します。

また、平成27年3月に策定された清須市地域公共交通網形成計画に沿って、「さらに利用しやすい公共交通ネットワークの構築と、より一層の利用者の利用促進策の推進を期待します。」と、評価をいただいております。

●加藤副会長

資料5の5ページ、朱書き箇所ですが、平成27年12月24日に、公共交通会議において自己評価をして、そして、その自己評価について、平成28年2月に第三者評価委員会で二次評価をしていただいた結果が、先ほど事務局が話した内容です。

内容としては、文句なしでべた褒めでしたので、全然面白くないですね。

もっと、「ここはこうした方がいいんじゃないの」とか、ご指摘をいただいた方が、これから清須市の公共交通をよりよくするためにはいいんですけどね。

今回の評価は、「着実に頑張ってるんで、また頑張ってくださいね」ということですね。

これから、第三者評価委員会の結果は、評価内容の良い悪いに関係なく、公共交通会議において紹介していただきたいと思います。

●前田会長

他に委員、よろしいですか。

〔特になし〕

●前田会長

他に、ご質問もないようですので、ここでお諮りいたします。

本件に関して、先生のご意見を踏まえた上で、ご承認いただくということですのでよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

ありがとうございます。それでは、協議事項（３）に関しましては、これで終了いたします。

続きまして、協議事項の議事（４）「清須市公共交通に関する意識調査の実施（案）について」を議題といたします。

それでは、事務局から説明してください。

〔協議事項（４）について事務局から説明〕

●前田会長

ただ今の事務局からの説明に関しまして、委員からご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

●加藤副会長

すみません。本日、午前中に岐阜県白川町の公共交通会議に出席しておりまして、その影響で遅刻して申し訳ありませんでした。

実は、白川町は、地域公共交通が極めて危機的状況に陥ってるので、同様の意識調査を、清須市には大変申し訳ないですが、白川町を優先して行っています。

清須市からは以前から「調査の進捗状況はどうですか」と、言われてましたが、優先順位をはっきり言うのは恐縮ですが、白川町を優先して行いました。

したがって、本日、名古屋大学の学生を連れてきていますが、これから、私と一緒に清須市の調査を進めていきますので、今日は資料６にある調査内容（案）のみお示しする形になり、具体的なアンケートの調査項目などについては、今日お見せすることができませんでした。

私に、分身の術とかあればよかったですけど、睡眠時間を無くしても足りないくらい仕事がある状態です。業務が遅れていて申し訳ないです。

先ほどの事務局からの説明の中で、「調査項目については、私と事務局に一任」ということで、私から委員のみなさんに責任もって調査項目について送付するようにしたいと思います。

調査項目は委員のみなさんも、実際にみてみないと、具体的に意見が言えないと思うので、しっかりみていただきたいと思います。

とりあえず、資料６にある調査内容（案）の中で、「もっとこういうこと聞いた方がいいんじゃないか」とか、「こんな内容はいらんじゃないか」とか、「私は個人的にこういうことに興味がある」とか、ありましたら教えてください。

あるいは、「私はいつもこういう風に思ってるんだけど、個人的な意見なんで、もっと証明してもらうために、ぜひアンケートで聞いて欲しい」とか、そんな考え方でもいいです。「私はこういう風に思ってるんだけど、市民のみなさんにきいてもらえますか」という感じです。

この場で言うていただくと手戻りが少ないのでお願いしたいと思います。



います。

●前田会長

他に委員、よろしいですか。

〔特になし〕

●前田会長

他に、ご質問もないようですので、ここでお諮りいたします。  
本件に関して、ご承認いただくということによろしいでしょうか。

〔異議なし〕

ありがとうございます。それでは、協議事項（４）に関しましては、これで終了いたします。

続きまして、協議事項の議事（５）「コミュニティバスの利用促進策（案）について」を議題といたします。  
それでは、事務局から説明してください。

〔協議事項（５）について事務局から説明〕

●前田会長

ただ今の事務局からの説明に関しまして、委員からご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

●林委員

林と申します。よろしく申し上げます。

コミュニティバスの利用促進実施計画の中で「商業施設等との連携」がありました。

つまり、「あしがるバスを利用して、商業施設に行ったら、その商業施設で特典をつけてもらったらかどうか」という話だと思います。

私は今、商工会の役員もやっておりますので、私からも商工会の会員さんには声をかけているところです。

これとは別に、福祉関係の部署からの依頼ですが、「健診を受けたら何か特典をつけたい」とのことで、商工会の買い物のクーポンを渡すことをやっています。これは、健康増進にもなるし、商工会のお店のPRも兼ねて、お互いの利益になるものです。

商工会の理事会でも、あしがるバスの特典の話はしていますが、そもそも市内の商業施設で商工会に加盟していない商業施設も多いので、協力を得ることがなかなか難しいところです。

また、最近、私の近所で問題になっていきますのが、私が住んでいる西枇杷島地区南二ツ杵ですが、名古屋市境の清須市の最南端になります。その地区に旧美濃路街道がありまして、その通りで町工場をやっているんですけど、近くには名鉄二ツ杵駅があって、その前のスーパー

が先月末で閉店しました。

それで、近所の高齢者の方々は、今まではそのスーパーに歩いて買い物に行ってたんですけど、閉店によって、近所に買い物できるところがなくなってしまって、本当に困ってみえるんです。

「どこか買い物行きたいけど足がない」ということで、そういうときのために、このあしがるバスがあると思うんです。

以前は、旧美濃路街道をあしがるバスが通っていたので、再度、コースを変更できるならそれに越したことはないんですけど、おそらく難しいとは思っています。

しかし、近所のお年寄りの方からは、そういう話を聞きますので、できる限りそういう声がなくなるように、商工会も市役所も一緒に動いて、あしがるバスを利用して商業施設に行かれたときに特典をつければ、買い物に行かれる方もあしがるバスを利用する方も増えてくるんじゃないかと思います。

これは、「高齢者の方も助かる」、「あしがるバスの利用者も増える」という、一挙両得ですのでお話させていただきました。

●小出主査

はい、林委員の心強いご意見いただきましてありがとうございます。

「商業施設との連携」については、商工会の役員でもある林委員のご協力をいただきながら、進めていきたいと思います。

また、商工会の理事会の場で少しお時間をいただいて、事務局から「あしがるバスと商業施設との連携」について、ご説明させていただいて、協力内容について一緒に考えさせていただければなと思っておりますので、よろしくお願いします。

●山田委員

山田です。

「コミュニティバス乗り方教室」において、アンケートを実施されたとのことですが、子どもたちからは、実際にどのような回答がありましたか。「乗ったことがないから乗ってみたいな」みたいな回答はありましたか。

私自身は、孫にせがまれて、あしがるバスに乗るんです。

したがって、「子どもがバスに乗りたいたから、それにつられて親を引っ張り込む」やり方も必要じゃないかなと思います。

●小出主査

児童に対してのアンケート調査ということでしたが、実際には、教室の中では明確なアンケート調査は実施しておりません。

乗り方教室の中で、児童に向かって口頭で、「あしがるバスを知っている人はいますか」とか、バスを知っている児童の中で「乗ったことがある人はいますか」というような形で聞きましたので、明確な数字ではございませんが、大体の目安で調べたところでございます。

また、確かにあしがるバス乗り方教室を初めて行って感じてきたこ

となんです、児童が一番喜んでいたのは、あしがるバスを「実際に車内に入って見ること」でした。

資料7-1の「(3) 活動状況」の「② バスの乗車体験」とありますが、あしがるバスは全車バリアフリーですので、写真のとおり、バス後方から車椅子ごとリフトアップしてバスに乗ることになります。こちらを見せたのが一番喜びました。

やはり、小さいお子さんは説明云々よりも、こういったアトラクション的なものの方が楽しんでくれるのだと実感しました。

とりあえず、こういったことを継続的に行うことによって、バスの存在は知ってくれた訳なので、山田委員がおっしゃるとおり、これをきっかけに、バスを知って、興味を持って、バスを利用する際に、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんと一緒に乗っていただくことにつながってほしいなと思っております。

#### ●加藤副会長

私が多くの公共交通会議で発言しているんですけど、全然やってくれない利用促進策がたくさんありまして、その内の一つを挙げます。

例えば、チラシをイメージしてください。チラシの左側に山田委員がお孫さんに「バスに乗ろうよ」と腕を引っ張られて、すごく嫌そうな顔をしています。そして、チラシの右側には、2か月後くらいにはすごく格好よくなって、山田委員がお孫さんと一緒にバスに乗ってる姿があります。

要するに、私は、「バスとか公共交通を利用すると、格好よくなる、綺麗になる」という説を唱えていて、逆に、「自家用車に乗っているとだらしなくなる」と考えています。

例えば、通勤に自家用車を利用すると、「女性だと化粧しなくなる」とか、「足元もおしゃれしないでサンダルで運転してしまう」など、あります。本当はサンダルで運転してはいけないんですけど、そうやってしまいます。

つまり、公共交通で出かけることによって、非常に身だしなみを気にすることになり、きちんとして、お孫さんからみても格好いいおじいちゃんにみえます。そういったポスターを作ってほしいなと思っております。

山田委員の発言を聞いて、そのようなポスターが、山田委員くらいの年配の方に何か刺激を与えられるんじゃないかなと思いました。

それにあわせて、バス乗り方教室みたいなことを一緒に行うとすごく効果的ではないのかなと思えます。

もう一つは、これは当初から思ってたことなんですけど、この会議の場合ですと、加藤委員や宮崎委員がモデルになって、「バスに乗ると健康になるよ」というパターンです。

これは、そのような統計データもあるのでかなり有効だとは思っています。また、身近に、「バスを使うと、歩く距離が長くなって健康になりました」という方が結構おられる。

まあ、健康だからこのような話ができる訳で、健康ではない方はそもそも話せる機会がないのかもしれませんが、身近に、そういう方が

非常に多いし、「病気だったけど、バスを使うようになって健康になった」とか、「入院したけど退院してからは、バスを使うようになって、それからは全然病気にならない」とか、そういう方が以前よりも多くなってきたという話は、よく聞きますし、回りからも聞きます。そのような「バスに乗って健康な生活を送ろう」みたいなキャンペーンも有効だと考えております。

つまり、結構、バスに乗るきっかけとして、お孫さんが誘って、おじいさんやおばあさんが乗るってことが多いです。

子どもさんが好きだけど、お父さんやお母さんはバスに乗るのは面倒くさいから嫌だっというのはい多いです。

また、おじいさんやおばあさんと運転に不安がある方が多かったり、せっかく一緒に出かけるんだったら面白い方がいいので、そういうきっかけとしてバスに乗ってもらえるといいと思います。

あとは、今言いましたように、自家用車ばかり乗らずに、公共交通を利用すると、自然に歩くようになって、結果として歩くと病気を患う確立が低くなると思います。

これらは例えばの話でしたけど、利用促進の一つのネタとして、先ほどのようなことをしたらいいのかなとずっと思っていました。

多くの公共交通会議で言ってきたんですけど、どこも全然やってくれないので、強行手段として、この会議で言いました。

お話した内容が、実感として効果的であると思ったのであれば応援していただきたいですし、そうでなければやっていただかなくても結構です。

#### ●後藤委員

後藤です。

今先生が「応援してください」とおっしゃったんですけど、確かに私は孫にせがまれてバスに乗りました。

子どもたちは通常ほとんど自家用車で出かけてしまいますので、たまにはバスに乗せるのもいいかなと思って、一度だけですけど、私も孫と一緒に乗りました。そしたら、やっぱり喜ぶますね。バスに乗ると目線が高くなって、小学校低学年ですのでそれだけで喜んでいました。

#### ●加藤委員

加藤です。

200円の一日乗車券ですけど、これがとっても利用した方から評判がいいんです。しかし、私の回りには、まだ、この一日乗車券をどこで買うのかわからない方がいらっしゃいますので、運転手さんの後ろにでも、「バス車内で買えますよ」というチラシをぶら下げてあげたら親切じゃないかなと思います。

また、こんな使い方をしてる人もいました。バスでヨシヅヤに行って買い物して、自分の最寄り停留所で降りた場合に、方向によっては道路を横切らなければならない場合があります。たくさん買い物した場合は、道路を横切るのも大変です。そんなときに、その停留所で降

りずに、そのまま乗って行って、終点から折り返して、逆方向で帰ってきて、先ほどの停留所の反対方向の停留所で降りて喜んでいる方がみえました。「へえ、こういう乗り方もあるんだ」と、びっくりして感心しました。

また、200円で「あっちでもこっちでもどのルートでも乗れる」という心のゆとりができます。私も一日乗車券を買って、どのルートでも乗れるから時間を気にしなくて買い物できるので、つい買いすぎてしまいます。心のゆとりというのはこういうものなんだということを知りました。

ですから、この「200円で一日乗り放題」をぜひPRしていただきたいと思います。

ましてや、これから夏休みに入るので、子どもさんが多く乗っていただけたらと思いますので、PRをよろしくお願いいたします。

#### ●小出主査

はい、利用者目線からの貴重なご意見ありがとうございます。

早速、バス車内において、一日乗車券のPRをしっかりとやっていきたいと思います。ありがとうございました。

#### ●加藤副会長

一日乗車券のことは、運転手さんから利用者に「一日乗車券ありますよ」と言ってもらったらいいですよね。一日乗車券は2回乗れば、要するに往復乗れば元がとれる訳なので、多くの方に使っていただきたいと思います。

加藤委員のおっしゃるとおり、心のゆとりというのは本当にそのとおりだと思います。

この会議でお話したことがあるか分かりませんが、一宮市は「お出かけバス手形」があり、平日の10時から16時、土日祝日は終日、市内の全ての路線バス、名鉄バス、コミュニティバスが乗れる手形があります。私自身も買って、実際に乗ってみました。停留所で待っていて、来たバスに乗ればいいだけです。本当に心が楽ですね。何でも関係なく、何でも乗れるので、全然気になりません。

もちろん、一宮市は清須市に比べたら運行本数自体が多いですし、行き先もいっぱいあるので、大変使い勝手がいい訳ですが、清須市の場合であっても、いつも通りの往復とか乗り継ぎだけじゃなくって、今日は一日無料だから、「いつもとは違うところに行ってみようかな」と、考えて利用していただけるのかなと思います。

あと、付け加えていうと、やはりサクラルートの利用者数をもっと増やしたいと思ってます。オレンジルート、グリーンルートに比べてサクラルートだけ、バスが大きくなっています。そもそも、これは市外から鉄道でJR枇杷島駅に来てもらって、そこでバスに乗り換えて、春日地区方面に行っていただくことが狙いでした。

しかし、それは、あしがるサイクルも一緒ですけど、市外の方に存在自体があまり知られていません。

だから、「市外から市立図書館やはるひ美術館の方へ行くためには、

サクラルートに乗っていただけますよ」や、「市外から清洲城へ行くためには、あしがるサイクルがありますよ」とPRして、例えばこの2つをセットにして、図書館でも清洲城でも、どちらにしても自家用車で来なくても、電車で来てもらえば、バスを利用して目的地まで行けることを周知することができるかと思えました。

●加藤委員

加藤です。

本日の資料からみると、平成29年10月にルート・ダイヤを改正するみたいですね。

以前は、サクラルートはいろいろな場所を親切に回って、長い運行時間になると、何もできないからといって利用されない方がいらっしやいました。

しかし、今の運行時間は、ヨシヅヤに買い物に行く場合は、サクラルートが一番短いんですね。私の回りでは、すごくみなさん喜んでるので、ルート・ダイヤ改正をすることも、サクラルートだけはぜひこのままにしてほしいと思います。

決して、自分が乗るから言ってるだけじゃなくて、みなさん喜んでますのでよろしくお願いします。

●前田会長

他に委員、よろしいですか。

〔特になし〕

●前田会長

他に、ご質問もないようですので、ここでお諮りいたします。

本件に関して、ご承認いただくということでしょうか。

〔異議なし〕

ありがとうございます。それでは、協議事項(5)に関しましては、これで終了いたします。

続きまして、協議事項の議事(6)「平成27年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算(案)について」を議題といたします。

それでは、事務局から説明してください。

〔協議事項(6)について事務局から説明〕

●前田会長

それでは、ここで監事として会計監査をお願いしております山田委員から監査報告をお願いいたします。

●山田委員

それでは、監事としてご報告させていただきます。

平成27年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算について、歳入歳出差引簿及び関係証拠書類を審査したところ、全て正確かつ適正に処理されていると認めましたので、ここにご報告します。

●前田会長

山田委員、ありがとうございました。

それでは、この協議事項について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

[特になし]

●前田会長

他に、ご質問もないようですので、ここでお諮りいたします。

本件に関して、ご承認いただくということによろしいでしょうか。

[異議なし]

ありがとうございます。それでは、協議事項(6)に関しましては、これで終了いたします。

続きまして、その他ということで、事務局から報告事項がございましたら、お願いします。

●藏城副主幹

本日は、長時間にわたってご協議いただきましてありがとうございます。

本日の協議の中でございました、清須市生活交通確保維持改善計画につきましましては、いただいたご指摘を踏まえて、修正した後に国土交通省に提出させていただきます。

また、「公共交通に関する意識調査」のご協議をさせていただきましたが、これから加藤先生のご協力をいただきまして、詳細な設問項目の作成にとりかかりたいと思います。この調査について、委員さんの中で、先ほど資料で見ていただいた調査内容の他に、「こういったことを聞いた方がいいのではないか」というご意見がありましたら、電話、ファックス、メールでもどのような方法でも結構ですので、ご意見をお出しただけければと思っておりますのでよろしく願いいたします。

あと、平成28年度スケジュールの中でお示しさせていただきましたとおり、次回の会議は12月を予定しております。

その間に、10月には利用促進の一つである、バスの一日無料デーなどのイベントも開催させていただく予定でございます。委員の皆様におかれましてはお時間がお許しいただけるようであれば、お越しただけると助かりますので、よろしく願いいたします。

●前田会長

ありがとうございました。ただ今事務局から、本日予定されていた報告事項・協議事項につきまして、報告をまとめていただきました。

最後に各委員さんから何かありますでしょうか。

●藏城副主幹

すみません。本日、愛知県からこちらのチラシ「平成28年度エコモビ推進表彰候補団体募集」を配布させていただいておりますので、こちらの内容につきましてご説明させていただきたいと思います。

●愛知県振興部交通対策課 山口様 説明

ご紹介いただきました愛知県交通対策課の山口と申します。

少しお時間いただきまして、こちらのオレンジのチラシのエコモビ推進表彰についてご説明させていただきます。

こちらは例年行っているものになりますが、愛知県のあいちエコモビリティライフ推進協議会を中心に、車と公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分けるエコモビリティライフ略してエコモビになります。

こちらの普及啓発活動に様々に取り組んでおりまして、その一環でエコモビ活動を積極的に行っている団体さんを表彰するイベントである、エコモビリティライフ推進表彰を今年度は8月3日まで団体さんを募集しております。

こちらのチラシの下の参考にも書いてあるんですけど、コミュニティバスなどについても多くの団体様を表彰させていただいておりますので、みなさまの方からも心当たりある団体様ございましたらぜひお声掛けていただいて、たくさん応募していただけるようお知らせ等よろしく願いいたします。

団体様を選ぶ基準としては、学識経験者の方々に構成される審査会で、厳密に審査させていただきまして、選ばれた団体様は11月14日の月曜日に開催を予定しておりますエコモビリティライフ県民の集い2016で愛知県知事から表彰状が手渡しされたりしますのでぜひみなさんに応募していただければと思います。ありがとうございます。

●前田会長

ありがとうございました。それでは、最後に委員の皆さんから他に何かございましたらお願いします。

〔特になし〕

ありがとうございました。

それでは、これもちまして、平成28年度第1回清須市地域公共交通会議を閉会いたします。

本日は、本当にありがとうございました。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



4 閉会（午前 1 5 時 4 5 分）	
問い合わせ先	企画部 企画政策課 052-400-2911 内線1224

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 前 田 繁 一

署名委員 山 田 政 勝

署名委員 谷 野 嘉 一